

「アフガン復興 広島に学ぼう」

駐日大使、中区で講演



駐日アフガニスタン大使
のハルン・アミン氏に写真
が17日、開発途上国の人
材育成などを手がける国連

機関・ユニタール(国連訓
練調査研究所、本部シユネ
ーブ)で研修中の同国行政
職員らを対象に、広島市中
区の広島商工会議所で講演
した。「9・11テロ(米
国同時多発テロ)による
米軍侵攻後、アフガニス
タンでは公共部門におけ
る人材不足が大きな問題に
なった。見事に復興を成し
遂げた広島に学んで、我々
は自分たちで立ち上がらな
ければならない」と訴え
た。

ユニタールの研修プロジ
ェクトは4月からの約8カ
月間で、アフガニスタン政
府の保健省や女性課題省、
地域復興開発省などから計
37人が参加。リーダーシッ
プやマネジメント能力の研
修を受け、アフガニスタ
ン、インドに次ぐ3カ所目
の研修旅行で広島を訪れ
た。

アミン氏は首都・カブール
生まれ。在米アフガニス
タン代表などを経て、04年
から現職を務める。

演題は「紛争後のアフ
ガニスタンにおける人間の
安全保障と人材能力の探
求」。人間の安全保障とし
て、欠乏からの自由▽恐怖
からの自由▽尊厳をもって
生きる自由が必要と唱え
た。同時多発テロのあと国
の予算が足りずに、大きな
水道施設が建設されていな
い現状なども説明。「各省
の機能が重複している構造
を立て直し、男女平等に人
材育成を図るなど、長期的
な計画の構築が必要」と述
べた。

(熊沢香渚子)